

平成30年度（2018年度）
市民アンケート集計結果（暫定版）
（政策評価委員会資料）

平成30年（2018年）7月
横須賀市

目 次

I	調査目的および実施方法等	1
II	集計結果	6
i	横須賀市の魅力について	6
ii	横須賀への愛着や住み良さについて	8
ii - 1	横須賀への愛着について	8
ii - 2	横須賀市の住み良さについて	9
ii - 3	横須賀市への定住意識について	11
iii	重点プログラムの取り組みの方向性に対する実感について	
	総合戦略 基本目標1「市内経済の活性化を図り、雇用を創出する」	
	基本目標2「定住を促す魅力的な都市環境をつくる」	
	重点プログラム4「にぎわいを生む」	
	～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～	
	1 取り組みの方向性の傾向	17
	2 回答理由分類	19
	総合戦略 基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	
	重点プログラム1「新しい芽を育む」	
	～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～	
	1 取り組みの方向性の傾向	23
	2 回答理由分類	25
	総合戦略 基本目標4「人口減少社会に対応したまちづくりを進める」	
	重点プログラム2「命を守る」	
	～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～	
	1 取り組みの方向性の傾向	29
	2 回答理由分類	31

重点プログラム3「環境を守る」

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

- 1 取り組みの方向性の傾向 …………… 35

重点プログラム5「地域力を育む」

～地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

- 1 取り組みの方向性の傾向 …………… 36

優先して取り組むべき政策について

- 1 優先して取り組むべき政策の傾向 …………… 37

- 2 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感 …… 39

基本的な属性（F1～F6） …………… 40

I. 調査目的および実施方法等

1 調査目的

市民の生活実感や市政への意識を把握し、今後の政策・施策の改善に活用するため、横須賀市基本計画（2011～2021）において重点的・優先的に実行する取り組みとして掲げた重点プログラムに対する実感等についてアンケート調査を実施した。

《横須賀市基本計画（2011～2021）に掲げる重点プログラム》

重点プログラム		取り組みの方向性	
1	新しい芽を育む	1-1	子どもを産み育てやすいまちづくり
		1-2	人間性豊かな子どもの育成
2	命を守る	2-1	誰もが活躍できるまちづくり
		2-2	安全で安心なまちづくり
3	環境を守る	3-1	人と自然が共生するまちづくり
		3-2	地球環境に貢献するまちづくり
4	にぎわいを生む	4-1	地域経済の活性化と雇用の創出
		4-2	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり
5	地域力を育む	5-1	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり
		5-2	地域を支えるコミュニティー機能の強化

2 調査概要

調査方法	郵送法（郵送配布、郵送回収）
調査対象	15歳以上の市民2,000人 （平成30年（2018年）4月1日現在；住民基本台帳から無作為抽出）
回収数	816件（前年度 571件）
回収率	40.8%（前年度比 プラス12.2ポイント）
調査期間	平成30年（2018年）5月7日～5月28日 *発送日－投函締切日

3 調査結果の集計方法（報告書の見方）

- (1) 本アンケート中「iii 重点プログラムの取り組みの方向性に対する実感について」(pp. 17-39)では、基本計画で掲げた各重点プログラムの取り組みの方向性について、以下のとおり設問し、実感を尋ねている。

ア 現在について

重点プログラムの取り組みの方向性で掲げる状態にあるか

⇒ 「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」「⑤思わない」の5段階と、「⑥わからない」を設定

イ 以前との比較

重点プログラムの取り組みの方向性に向かって

⇒ 「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」「③変わっていない」「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」の5段階と、「⑥わからない」を設定

- (2) アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、DI（ディフュージョンインデックス 景気動向指数／拡散指数）の考え方を利用している。

プラスの回答ポイント - マイナスの回答ポイント = DI として記述している。

※DIとは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。マイナス100からプラス100の間を取る。

- (3) 集計結果では、「⑥わからない」と「無回答」を除いて、回答割合を算出している。

- ・ 現在について 「①思う」 + 「② やや思う」
- ・ 以前との比較 「①よくなっている」 + 「②どちらかというよくなっている」
⇒ プラスの回答ポイント
- ・ 現在について 「④ あまり思わない」 + 「⑤思わない」
- ・ 以前との比較 「④どちらかという悪くなっている」 + 「⑤悪くなっている」
⇒ マイナスの回答ポイント

◆DIがプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある
◆DIがマイナス … アンケート回答者の実感が、良好でない・後退の傾向にある

- (4) なお、回答率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とならない場合がある。

4 総合戦略との関係について

本市では「横須賀市基本計画（2011～2021）」の中で、計画期間に特に重点的・優先的に実行する取り組みとして、5つの重点プログラムを位置付け（P.1参照）、それぞれに2つの取り組みの方向性を示している。

また、基本計画に基づいて実施する主要な事業を示した実施計画では、重点プログラムを推進するための施策等を中心に取り組みを進めてきており、第2次実施計画（2014年度～2017年度）では、「急速に進む人口減少」「社会保障費の増大」「地域経済の低迷」を本市の重点課題として捉え、「子育て・教育環境の充実」「生涯現役社会の実現」「地域経済の活性化」の3つを最重点施策に位置付け、計画期間において財源を重点的に配分し、施策を推進してきた。

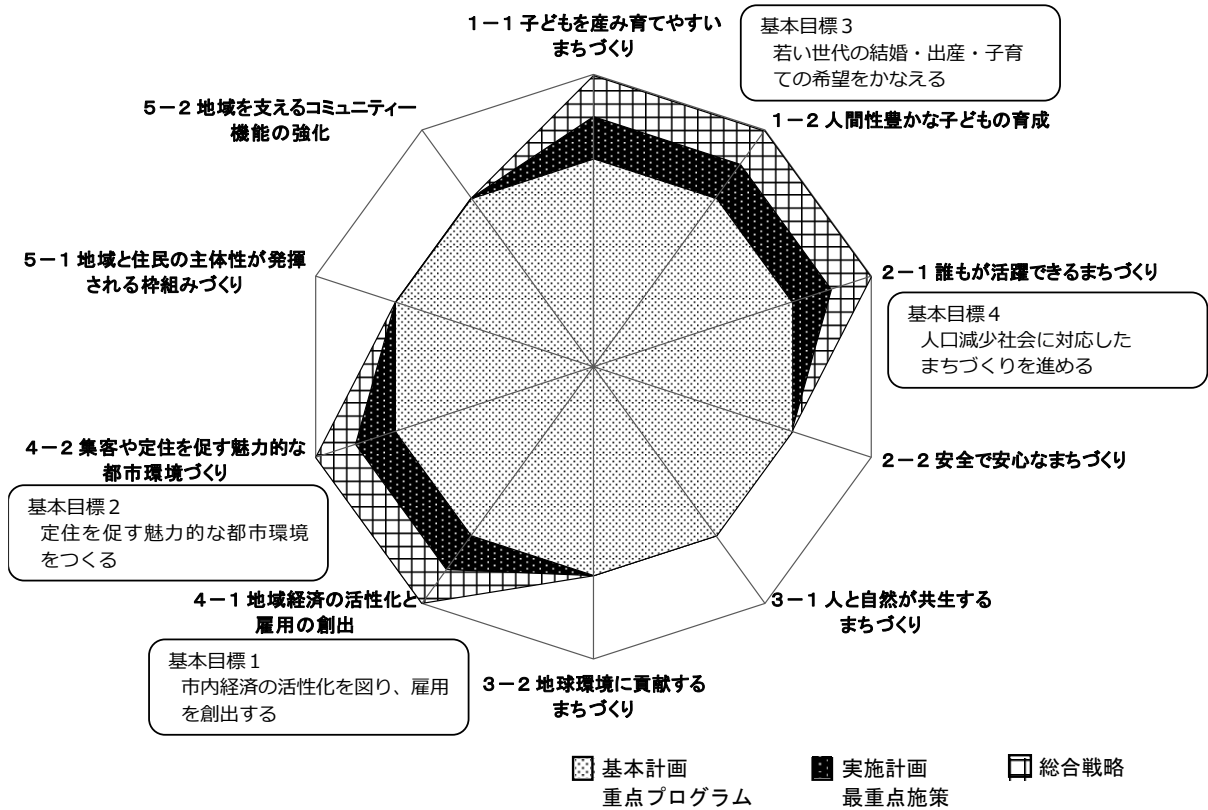
2016年3月に策定した総合戦略においては、第2次実施計画の最重点施策をさらに充実させていくという考えの下、以下に掲げる4つの基本目標の実現に向けて必要な施策を展開することとしている。

《総合戦略の政策分野（4つの基本目標）》

- 基本目標1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する
- 基本目標2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める
 - 【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】
 - 【4-2 健康・医療・福祉対策】

※なお、2018年3月に策定した新たな実施計画（横須賀再興プラン2018-2021）では、4つの最重点施策を掲げており、それぞれ総合戦略の基本目標と対応させている。

《総合戦略と総合計画の関係イメージ》



《総合戦略と総合計画（重点プログラム）の対応関係》

総合戦略の基本目標	重点プログラム	該当頁
1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する	4-1 地域経済の活性化と雇用の創出	p. 17
2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる	4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	p. 17
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり	p. 23
	1-2 人間性豊かな子どもの育成	p. 23
4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める	2-1 誰もが活躍できるまちづくり	p. 29

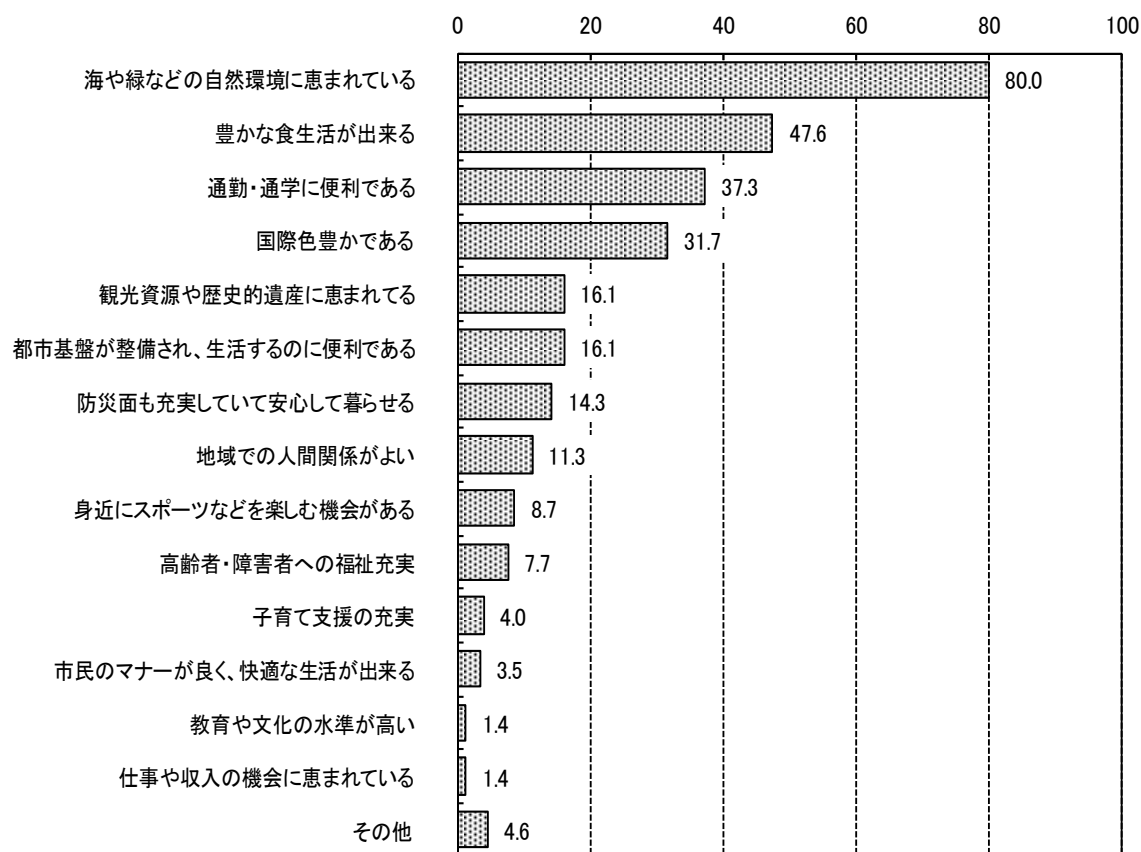
Ⅱ. 集計結果

ⅰ 横須賀の魅力について

問 あなたにとって横須賀の魅力的なところは、どのようなところだと思いますか。

- ・「海や緑などの自然環境に恵まれている」が80.0%と最も多く、次いで、「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」(47.6%)、「大都市に近く、通勤・通学に便利である」(37.3%)などが多く挙げられている。
- ・全体として、選択順位に過去の調査との大きな変化はみられないものの、上位3項目のうち「大都市に近く、通勤・通学に便利である」の選択割合が、前回調査と比べて約5ポイント低下している。

図表ⅱ-1 「横須賀の魅力的なところ」(n=805)



図表 i - 2 「横須賀の魅力的なところ」(過去調査比較) (n=805)

順位	平成30年5月調査 (n=805)		平成29年1月調査 (n=831)		平成25年1月調査 (n=930)	
	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)	回答項目	割合 (%)
1	海や緑などの自然環境に恵まれている	80.0	海や緑などの自然環境に恵まれている	81.0	海や緑などの自然環境に恵まれている	83.4
2	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	47.6	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	47.1	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	45.2
3	大都市に近く、通勤・通学に便利である	37.3	大都市に近く、通勤・通学に便利である	42.6	大都市に近く、通勤・通学に便利である	43.7

※過去2回は「総合計画市民アンケート」で実施

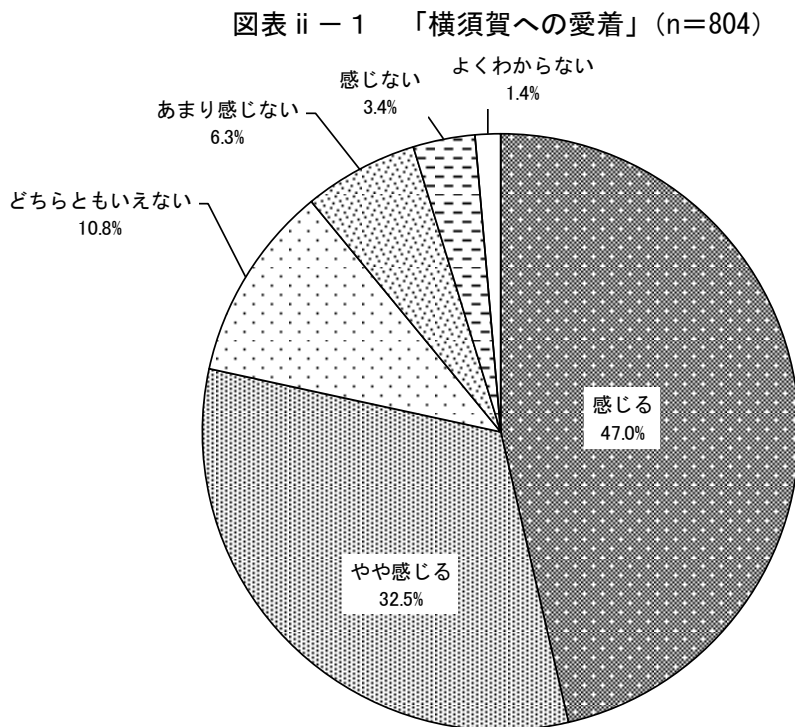
横須賀の魅力的な項目	平成30年5月 (n=805)		平成29年1月 (n=831)		平成25年1月 (n=930)		前回比 30-29	前々回比 30-25
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)		
海や緑などの自然環境に恵まれている	1	80.0	1	81.0	1	83.4	▲ 1.0	▲ 3.4
魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	2	47.6	2	47.1	2	45.2	0.5	2.4
大都市に近く、通勤・通学に便利である	3	37.3	3	42.6	3	43.7	▲ 5.3	▲ 1.1
国際色豊かである	4	31.7	4	30.3	4	22.9	1.4	8.8
観光資源や歴史的資産に恵まれている	5	16.1	5	16.5	5	18.2	▲ 0.4	▲ 2.1
道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である	5	16.1	7	11.4	6	16.8	4.7	▲ 0.7
犯罪が少なく、防災面も充実していて安心して暮らせる	7	14.3	6	13.7	9	9.0	0.6	4.7
地域での人間関係がとてよい	8	11.3	8	11.1	7	12.8	0.2	▲ 1.7
身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている	9	8.7	9	8.2	8	12.0	0.5	▲ 3.3
高齢者、障害者などへの福祉が充実している	10	7.7	10	7.2	10	7.4	0.5	0.3
子育てに対する支援が充実している	11	4.0	13	1.8	12	3.0	2.2	1.0
市民のマナーが良く、快適な生活ができる	12	3.5	11	4.6	11	3.2	▲ 1.1	0.3
仕事や収入の機会に恵まれている	13	1.4	12	2.3	13	2.2	▲ 0.9	▲ 0.8
教育や文化の水準が高い	13	1.4	14	1.0	14	1.0	0.4	0.4
その他	—	5.2	—	5.2	—	3.7	0.0	1.5

ii 横須賀への愛着や住み良さについて

ii-1 横須賀への愛着

問 あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じていますか。

- ・回答者の8割近くが、横須賀市に愛着を感じている（「感じる（47.0%）」「やや感じる（32.5%）」の合算）。これは、過去の調査と概ね同じ傾向である。



図表 ii-2 「横須賀への愛着」(前回調査比較)(n=804)

調査時期	件数 (人)	回答項目・割合 (%)						①+②	④+⑤
		①感じて いる	②やや 感じて いる	③どちらと もいえない	④あまり 感じて いない	⑤感じて いない	⑥よくわか らない		
平成30年5月	804	47.0	32.5	10.8	6.3	3.4	1.4	79.5	9.7
平成29年1月	835	43.8	33.1	10.4	7.5	4.0	1.2	76.9	11.5
平成25年1月	939	47.8	33.5	10.6	4.5	2.3	1.2	81.3	6.8

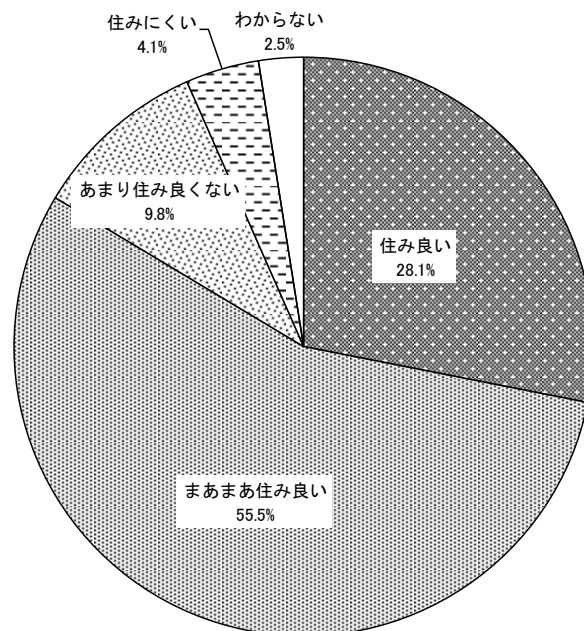
※過去2回は「総合計画市民アンケート」で実施

ii-2 横須賀市の住み良さについて

問 あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。

- ・「住み良い」(28.2%)、「まあまあ住み良い」(55.5%)を合わせると、回答者の83.7%が住み良さを実感している状況がうかがえる。
- ・年代別の回答では、「住み良い」と「まあまあ住み良い」を合わせると、60歳代が91.5%で最も高く、次いで70歳以上が87.1%、30歳代が82.4%と続く。
- ・一方、20歳代が70.2%と、前回調査(77.3%)と比べて低下している。

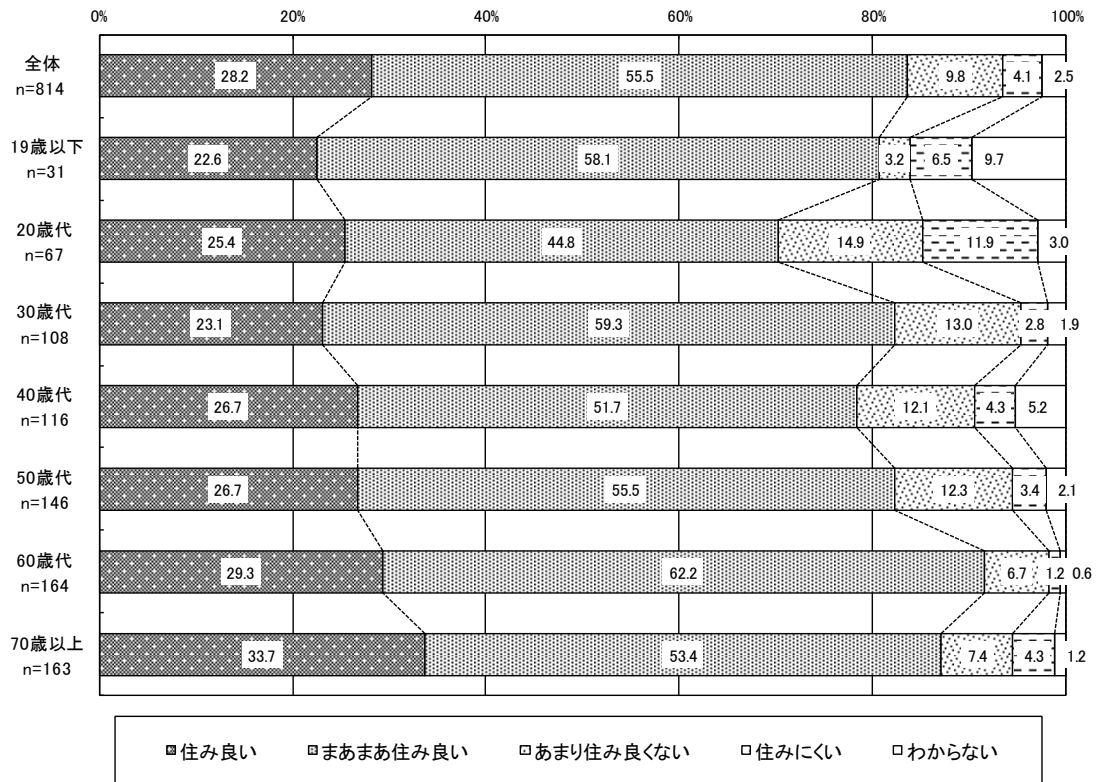
図表 ii-3 「横須賀市の住み良さ」(n=814)



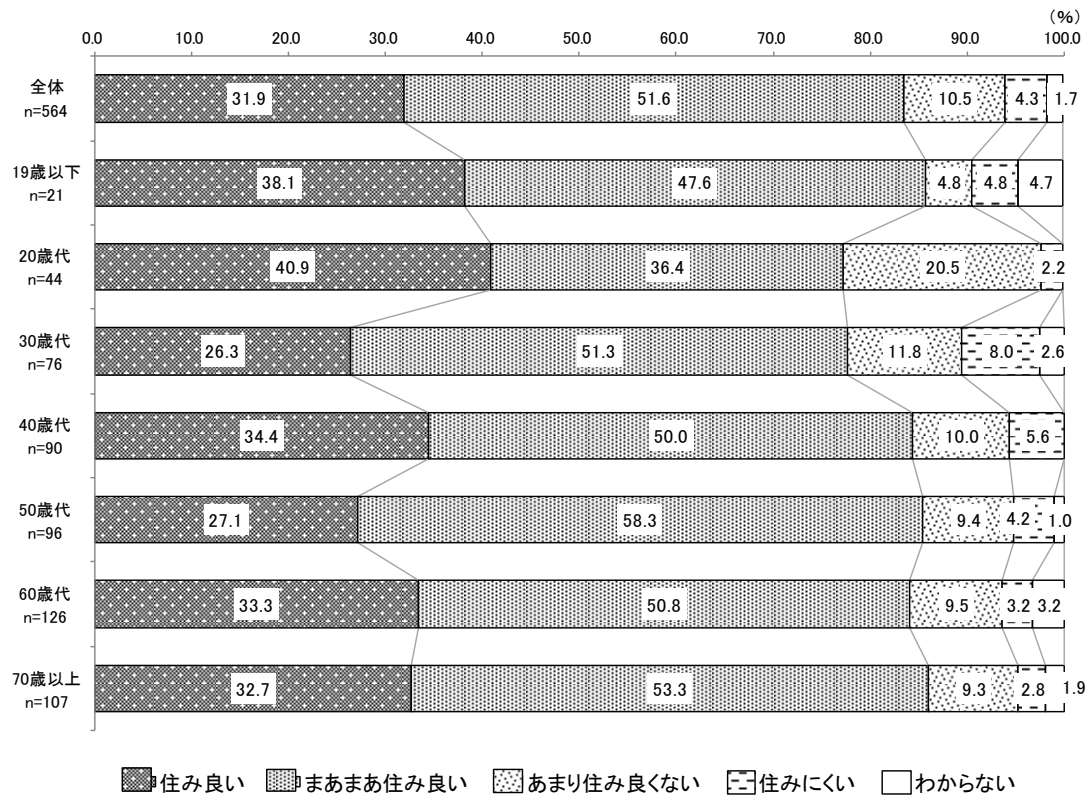
図表 ii-4 「横須賀市の住み良さ」(H30-28年度)

調査年度	件数(人)	(%)						
		①住み良い	②まあまあ住み良い	③あまり住みよくない	④住みにくい	⑤わからない	①+②	③+④
30年度	814	28.2	55.5	9.8	4.1	2.5	83.7	13.9
29年度	564	31.9	51.6	10.5	4.2	1.7	83.5	14.7
28年度	578	27.9	54.8	10.9	3.1	3.3	82.7	14.0

図表 ii - 5 「横須賀市の住み良さ」(年代別) (n=814)



(参考) 前年度調査結果 (n=564)



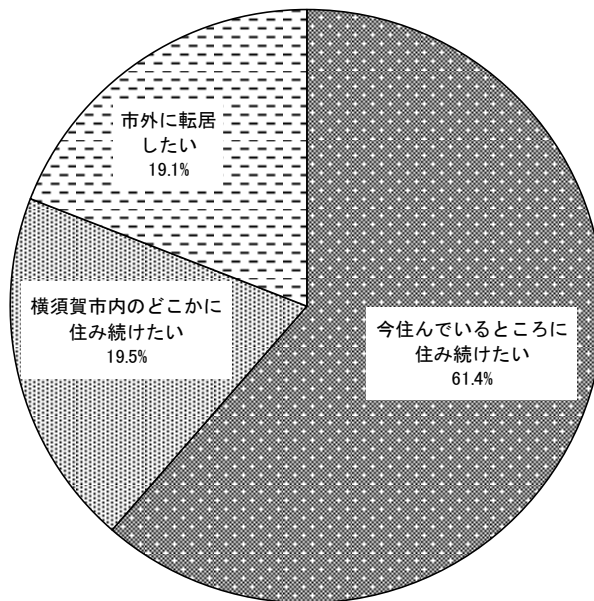
iii-3 横須賀市への定住意識について

(1) 横須賀市への定住意識

問 あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。

- ・「今住んでいるところに住み続けたい」(61.4%)、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」(19.5%)を合わせると、回答者の80.9%に上り、定住意識の高さがうかがえる。
- ・年代別の回答では、「今住んでいるところに住み続けたい」と「横須賀市内のどこかに住み続けたい」を合わせると70歳以上が90.8%と最も高く、次いで60歳代が89.0%、50歳代が84.9%と続いている。一方で、19歳以下が60.0%、20歳代が55.2%と、若年層で低い値となっている。
- ・特に20歳代については、前年度調査(83.8%)から数値が大幅に低下している。

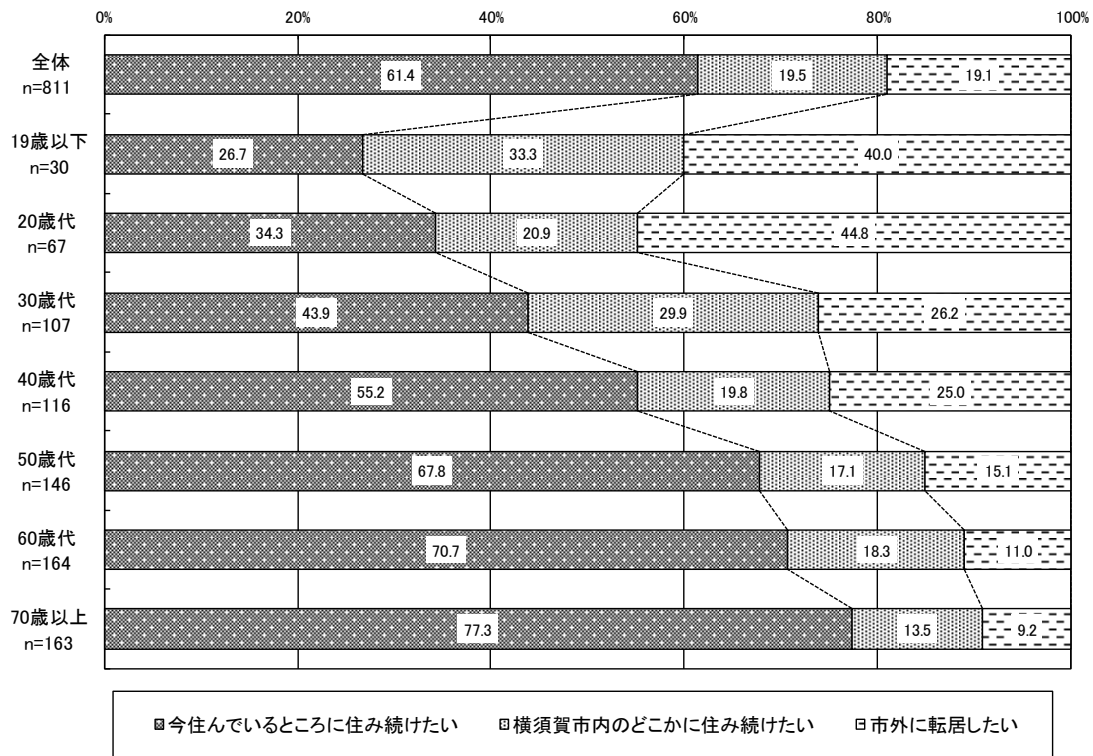
図表 ii-6 「横須賀市への定住意識」(n=811)



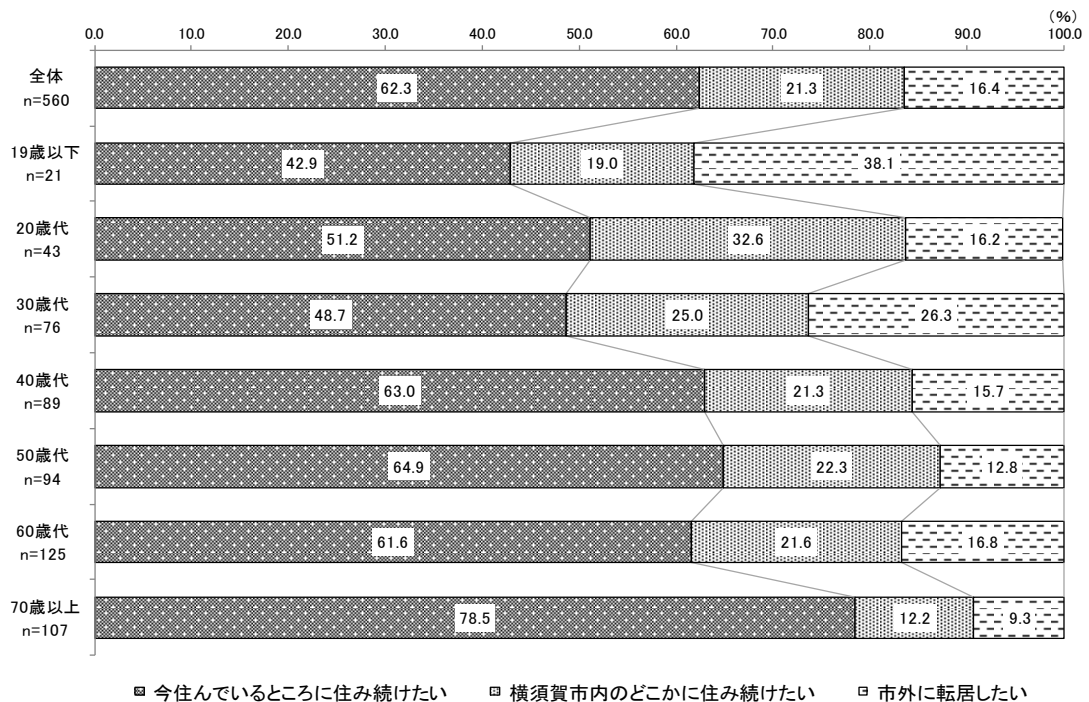
図表 ii-7 「横須賀市への定住意識」(H30-28年度)

調査年度	件数(人)				(%)
		①今住んでいるところに住み続けたい	②横須賀市内のどこかに住み続けたい	③市外に転居したい	①+②
30年度	811	61.4	19.5	19.1	80.9
29年度	560	62.3	21.3	16.4	83.6
28年度	572	64.8	17.5	17.7	82.3

図表 ii - 8 「横須賀市への定住意識」(年代別) (n=811)



(参考) 前年度調査結果 (平成 29 年度) (n=560)

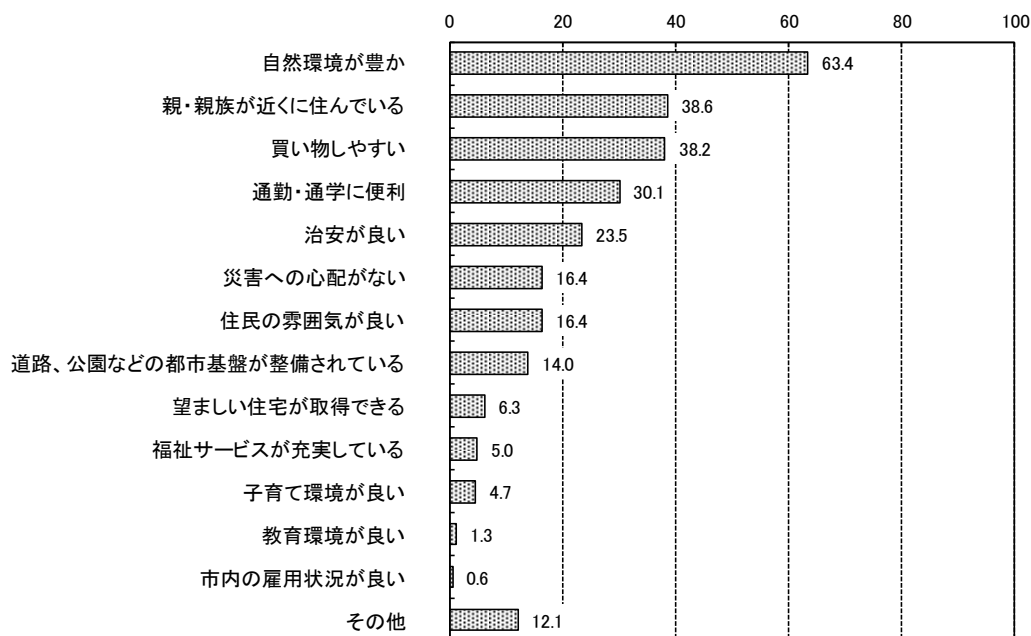


(2) 市内に住み続けたい理由

問 【前問で①または②を選んだ方に伺います。】
市内に住み続けたいと思う理由は何ですか。

- ・「自然環境が豊か」(63.4%)が最も多く選択されており、次いで、「親・親族が近くに
住んでいる」(38.6%)、「買い物しやすい」(38.2%)が多く選択されている。
- ・回答の傾向は、概ね前年度と同様である。

図表 ii - 9 「市内に住み続けたい理由」(n=634)



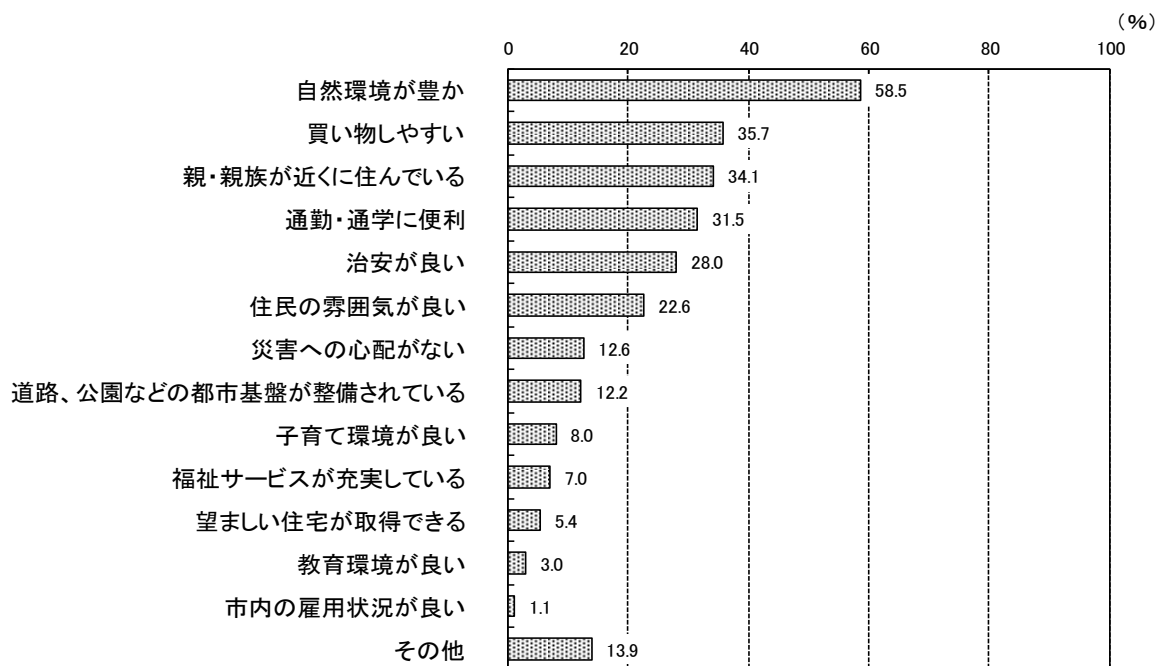
※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 ii - 10 「市内に住み続けたい理由」(選択順位別)

市内に住み続けたい理由	全体		1番目		2番目		3番目	
	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)
自然環境が豊か	402	63.4	194	30.6	143	24.7	65	12.8
親・親族が近くに住んでいる	245	38.6	77	12.1	66	11.4	102	20.1
買い物しやすい	242	38.2	47	7.4	126	21.8	69	13.6
治安がよい	149	23.5	72	11.4	30	5.2	47	9.3
通勤・通学に便利	191	30.1	58	9.1	70	12.1	63	12.4
住民の雰囲気が良い	104	16.4	17	2.7	32	5.5	55	10.8
災害への心配がない	104	16.4	48	7.6	30	5.2	26	5.1
道路、公園などの都市基盤が整備されている	89	14.0	28	4.4	36	6.2	25	4.9
望ましい住宅が取得できる	40	6.3	8	1.3	20	3.5	12	2.4
子育て環境が良い	30	4.7	22	3.5	3	0.5	5	1.0
福祉サービスが充実している	32	5.0	24	3.8	4	0.7	4	0.8
市内の雇用状況が良い	4	0.6	2	0.3	2	1.1	0	0.0
教育環境が良い	8	1.3	6	0.9	2	0.3	0	0.0
その他	77	12.1	31	4.9	12	2.5	34	6.7
回答数(n)			634	100	576	101	507	100

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

(参考) 前年度調査結果(平成29年度)(n=468)



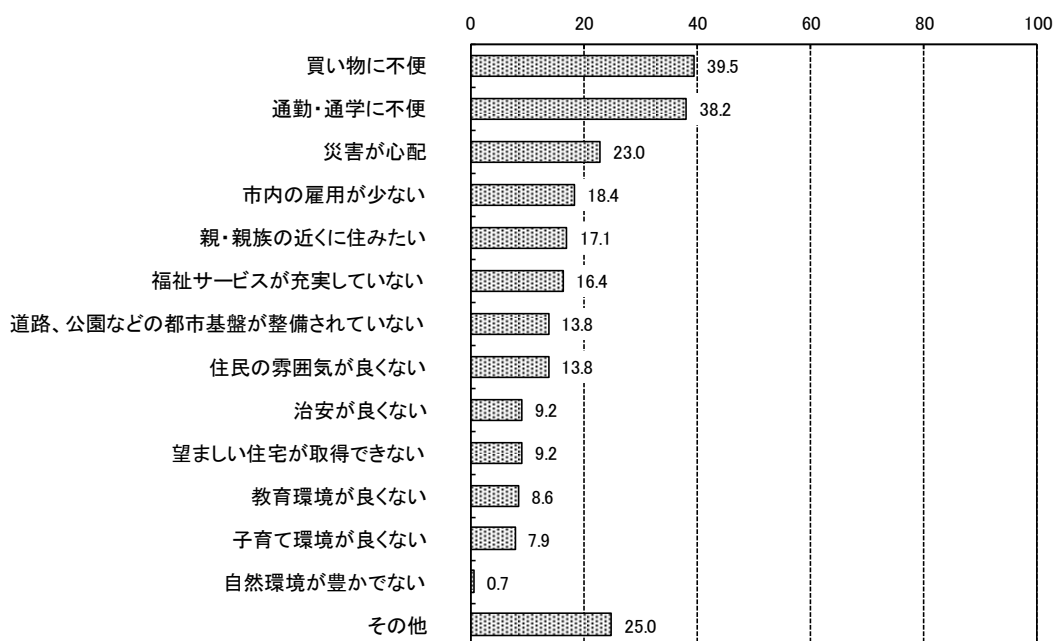
※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

(3) 市外に転居したい理由

問 【前〃問で③を選んだ方に伺います。】
市外に転居したいと思う理由は何ですか。

- ・「買い物に不便」(39.5%) が最も多く選択されており、次いで、「通勤・通学に不便」(38.2%)、「災害が心配」(23.0%) が多く選択されている。
- ・全体としては前年度調査と概ね同じ傾向だが、「通勤・通学に不便」の選択割合が、前年度と比べて4.5ポイント増加している。

図表 ii -11 「市外に転居したい理由」(n=152)



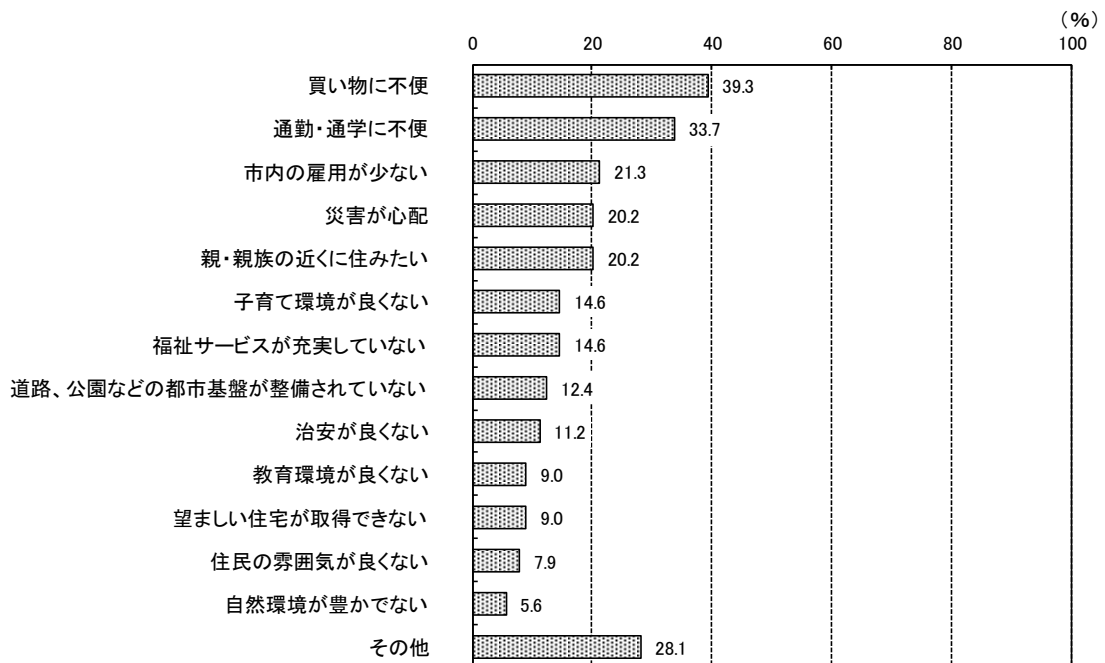
※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 ii - 12 「市外に転居したい理由」(選択順位別)

市外に転居したい理由	全体		1番目		2番目		3番目	
	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)
買い物に不便	60	39.5	26	17.1	24	19.4	10	10.9
通勤・通学に不便	58	38.2	31	20.4	15	12.1	12	13.0
災害が心配	35	23.0	15	9.9	12	9.7	8	8.7
親・親族の近くに住みたい	26	17.1	12	7.9	6	4.8	8	8.7
市内の雇用が少ない	28	18.4	5	3.3	20	16.1	3	3.5
道路、公園などの都市基盤が整備されてい	21	13.8	4	2.6	11	8.9	6	6.3
福祉サービスが充実していない	25	16.4	14	9.2	3	2.4	8	8.7
子育て環境がよくない	12	7.9	10	6.6	1	0.8	1	1.1
望ましい住宅が取得できない	14	9.2	4	2.6	5	4.0	5	5.4
住民の雰囲気がよくない	21	13.8	4	2.6	4	3.2	13	14.1
治安がよくない	14	9.2	4	2.6	7	5.6	3	3.3
教育環境がよくない	13	8.6	4	2.6	6	4.8	3	3.3
自然環境が豊かでない	1	0.7	0	0.0	0	0.0	1	1.1
その他	38	25.0	19	12.5	9	8.1	10	13.5
回答数(n)			152	99.9	123	100	91	104

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

(参考) 前年度調査結果(平成29年度)(n=92)



※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

iii 重点プログラムの取り組みの方向性に対する実感について

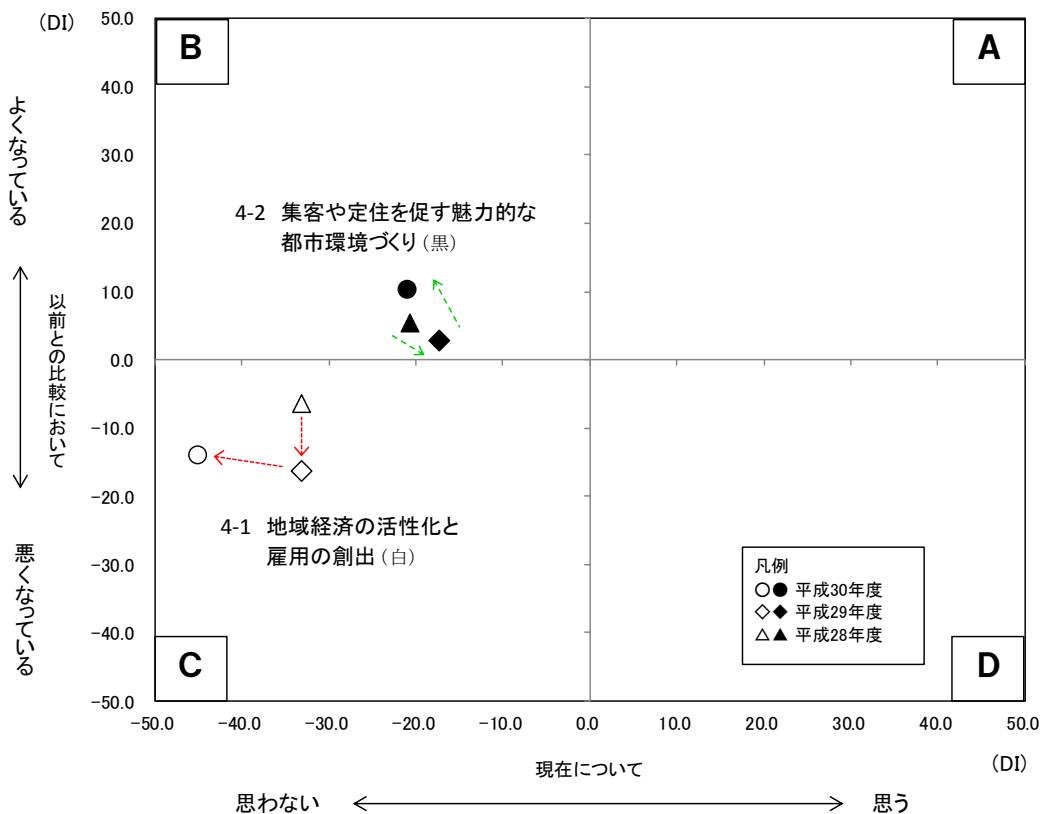
総合戦略 基本目標 1	市内経済の活性化を図り、雇用を創出する
総合戦略 基本目標 2	定住を促す魅力的な都市環境をつくる

重点プログラム4 『にぎわいを生む』
～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

- 問 4-1 横須賀市は、「地域経済の活性化と雇用の創出」が図られているまちだと思いますか。
- 4-2 横須賀市は、「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が進められているまちだと思いますか。

1 取り組みの方向性の傾向

図表 iii-1 重点プログラム4の取り組みの方向性の状況（H30-28年度比較）



(1) 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにマイナスとなっており、前年度調査と比べ「現在について」がさらに低下した。

特に「現在について」は近年マイナス30~40ポイント前後で推移し、実感が得られていない状況が続いている。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①思う + ②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない + ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	610	15.6	23.9	60.5	▲ 44.9	▲ 11.8
	29年度	472	22.2	22.5	55.3	▲ 33.1	0.1
	28年度	484	20.5	25.8	53.7	▲ 33.2	▲ 0.7
以前との 比較	30年度	514	18.3	49.2	32.5	▲ 14.2	2.1
	29年度	410	23.7	36.3	40.0	▲ 16.3	▲ 9.8
	28年度	436	26.8	39.9	33.3	▲ 6.5	0.4

(回答理由分類については p. 19 参照)

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

今回調査のDIは、「現在について」がマイナス、「以前との比較」ではプラスとなった。

「現在について」はマイナス20ポイント以下と、実感が得られていない状況が続いている一方で、「以前との比較」においては前年度調査と比べて数値が上昇している。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①よくなっている + ②どちらかとい うとよくなっ ている (a)	③変わって いない	④どちらかとい うと悪くなっ ている + ⑤悪くなっ ている (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	685	28.3	22.5	49.2	▲ 20.9	▲ 3.5
	29年度	501	28.9	24.8	46.3	▲ 17.4	3.3
	28年度	517	28.2	22.8	48.9	▲ 20.7	▲ 8.8
以前との 比較	30年度	573	31.2	47.6	21.1	10.1	7.2
	29年度	439	28.9	45.1	26.0	2.9	▲ 2.4
	28年度	453	30.2	44.8	24.9	5.3	▲ 3.2

(回答理由分類については p. 21 参照)

2 回答理由分類

(1) 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

【現在について】

「①思う」「②やや思う」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
観光事業の充実、観光客の増加	28	35.0
イベントの開催	(8)	
軍港めぐり	(8)	
猿島(地域資源の活用)	(4)	
施策の充実	19	23.8
企業誘致	(10)	
スポーツの活用、大規模スポーツ大会・施設等の誘致	(3)	
地域経済の活性化、商業施設、大型商業施設の増加	10	12.5
雇用の増加	7	8.8
横須賀中央や平成町などの開発	2	2.5
その他、意見等	11	13.8
否定的な回答理由	3	3.8
	80	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
働く場や求人が少ない、低賃金、労働力人口の流出	65	22.6
企業が少ない、企業・工場の転出・撤退、産業の衰退	50	17.4
商店街に活気がない、空き店舗の増加	36	12.5
変化を感じない、実感がない	32	11.1
施策が不十分、特色や面白みがない	28	9.8
企業誘致、産業の創出	(15)	
人口減少・人口流出	24	8.4
中心市街地ににぎわいや活気を感じない	11	3.8
魅力的な商業施設がない、買い物客の市外流出	9	3.1
交通利便性が低い	8	2.8
他都市と比べて劣る	8	2.8
観光業が弱い	3	1.0
地域差がある	2	0.7
その他、意見等	11	3.8
	287	100

【以前の比較】

「①良くなっている」「②どちらかというと良くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベントなど観光事業の充実、観光客の増加	18	31.6
イベントの開催	(5)	
軍港めぐり	(5)	
施策の充実	8	14.0
企業誘致	(4)	
地域経済の活性化、商業施設の増加	7	12.3
全体的によくなっている	6	10.5
雇用の増加	4	7.0
努力が見える	3	5.3
PRの向上、テレビなどメディアで取り上げられる	2	3.5
その他、意見等	7	12.3
否定的な回答理由	2	3.5
	57	100

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
企業が少ない、企業・工場の撤退、産業の衰退	22	18.6
商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少	20	16.9
人口減少・人口流出	17	14.4
雇用の減少、求人が少ない、労働力人口の流出、低賃金	13	11.0
中心市街地ににぎわいや活気を感じない、開発が進まない	10	8.5
経済が活性化していない、悪化	6	5.1
大型商業施設の減少、買い物客の市外流出	6	5.1
施策が不十分	5	4.2
雇用対策、企業誘致	(4)	
変化を感じない、実感がない	5	4.2
他都市と比べて劣る	3	2.5
全体的に悪くなっている	2	1.7
その他、意見等	9	7.6
	118	100

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベントなど観光事業の充実、観光客の増加	34	21.9
イベントの開催	(12)	
軍港めぐり	(5)	
PRの向上、テレビなどメディアで取り上げられる	27	17.4
施策の充実	23	14.8
スポーツの活用、大規模スポーツ大会・施設等の誘致	(9)	
観光・レジャーができる施設・名所がある	22	14.2
市の努力が見える	19	12.3
谷戸・空き家対策	(3)	
住みやすい	12	7.7
マンション・住宅地の増加	8	5.2
その他、意見等	6	3.9
否定的な回答理由	4	2.6
	155	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少・流出	34	14.8
魅力を感じない	29	12.7
定住を促す魅力的な要素がない	(11)	
他都市と比較して魅力がない・劣る	(9)	
施策の具体的な内容が見えない、取り組み・成果が見えない	28	12.2
施策が不十分、新しさがない	22	9.6
集客、観光などの施策が不十分	(12)	
魅力的な商業施設がない、買い物客等の市外流出	18	7.9
階段・坂が多い、道路整備が不十分、交通利便性が低い	13	5.7
公共交通が不便	(6)	
PR不足	13	5.7
雇用・企業の減少	11	4.8
商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少	11	4.8
魅力的な観光資源・施設が少ない	10	4.4
生活利便性が低い	9	3.9
空き家が多い	8	3.5
変化を感じない、実感がない	8	3.5
市街地の整備・再開発が進んでいない	3	1.3
その他、意見等	12	5.2
	229	100

【以前との比較】

「①良くなっている」「②どちらかというとな良くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
イベントなど観光事業の充実、観光客の増加	35	30.2
イベントの開催	(11)	
PRの向上、テレビなどメディアで取り上げられる	17	14.7
市の努力が見える	13	11.2
市街地の整備・活性化が進んでいる	10	8.6
マンション・住宅地の増加	9	7.8
全体的によくなっている	7	6.0
施策の充実	6	5.2
スポーツの活用、大規模スポーツ大会・施設等の誘致	(4)	
観光・レジャーができる施設の増加	4	3.4
道路整備、交通利便性の向上	2	1.7
その他、意見等	11	9.5
否定的な回答理由	2	1.7
	116	100

「④どちらかというとな悪くなっている」「⑤悪くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少・流出	23	31.1
空き家が多い	10	13.5
商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少	10	13.5
施策が不十分	5	6.8
魅力がない	5	6.8
道路整備が不十分、交通利便性が低い	4	5.4
中心市街地に活気がない	4	5.4
大型商業施設の減少、魅力的な商業施設がない	3	4.1
変化を感じない、実感がない	3	4.1
雇用・企業の減少	2	2.7
その他、意見等	4	5.4
	74	100

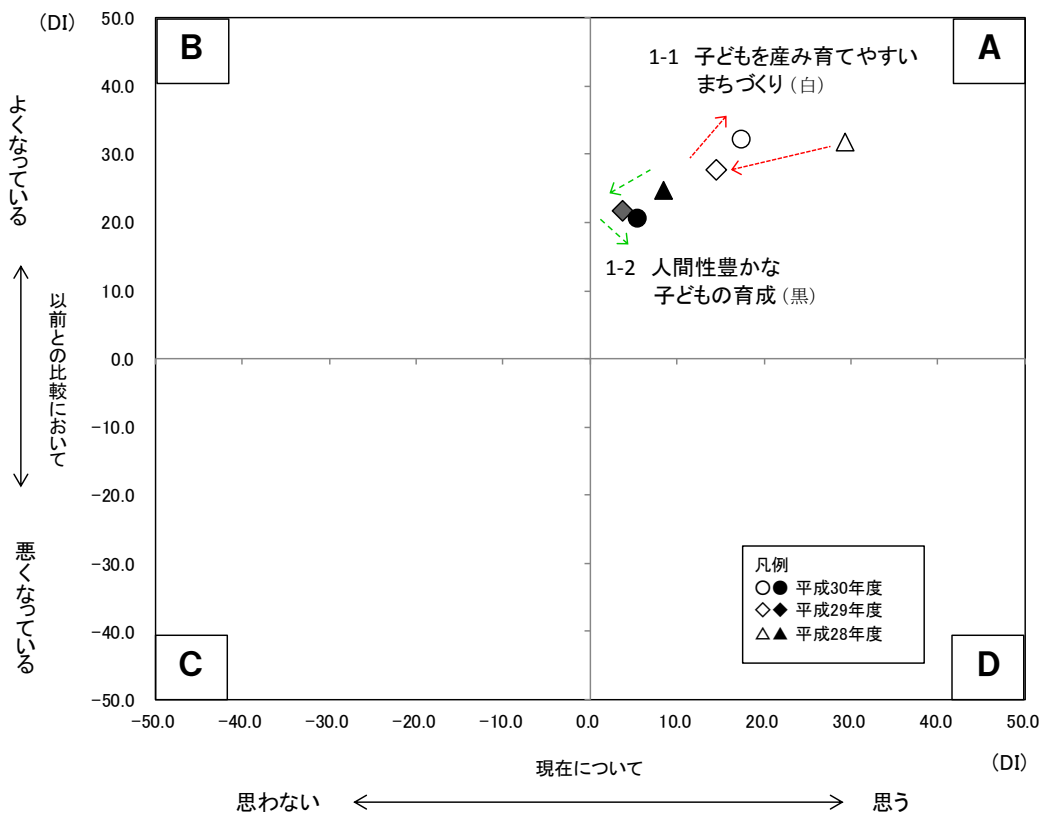
重点プログラム 1 『新しい芽を育む』

～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

- 問 1-1 横須賀市は、「子どもを産み育てやすいまち」だと思いますか。
1-2 横須賀市は、「人間性豊かな子どもの育成」が進められているまちだと思いますか。

1 取り組みの方向性の傾向

図表 iii-2 重点プログラム 1 の取り組みの方向性の状況 (H30-28 年度比較)



(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

今回調査のDIは「現在について」「以前との比較」とともに大きくプラスで、特に「以前との比較」は、プラス30ポイント以上の値となっている。

主な回答理由では、小児医療費助成についての記載が多く見られることから、当該施策の充実（助成対象年齢の拡大）が回答者の実感に影響を与えていると考えられる。

なお、この取り組みの方向性は、優先して取り組むべき政策として、最も多く選択された項目である（p.37参照）。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①思う + ②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない + ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	558	41.8	34.1	24.2	17.6	3.1
	29年度	407	42.5	29.5	28.0	14.5	▲ 14.9
	28年度	404	52.2	25.0	22.8	29.4	20.3
以前との 比較	30年度	430	43.3	45.6	11.2	32.1	4.4
	29年度	328	38.7	50.3	11.0	27.7	▲ 4.1
	28年度	330	47.6	36.7	15.8	31.8	7.5

(回答理由分類については p. 25 参照)

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、前年度の調査からは大きな変化は見られない。

「以前との比較」については、平成23年度以降、プラス20ポイント以上の値を維持しており、実感が得られているとみることができる。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①よくなっている + ②どちらか いうとよくなっ ている (a)	③変わっ て いない	④どちらか という と悪くなっ ている + ⑤悪くなっ ている (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	477	33.3	39.0	27.7	5.6	1.8
	29年度	369	34.4	35.0	30.6	3.8	▲ 4.6
	28年度	372	37.4	33.6	29.0	8.4	10.0
以前との 比較	30年度	356	30.3	59.8	9.8	20.5	▲ 1.3
	29年度	289	33.6	54.7	11.8	21.8	▲ 2.9
	28年度	292	39.4	45.9	14.7	24.7	4.7

(回答理由分類については p. 27 参照)

2 回答理由分類

(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
子育て支援施策や助成等の充実	42	20.0
小児医療費助成	(25)	
自然が多い、海・山がある、気候が温暖など自然環境の充実	36	17.1
子どもを預ける場の充実	28	13.3
保育園・幼稚園の充実、待機児童数が少ない	(17)	
放課後児童クラブ(学童クラブ)の充実	(6)	
環境がよい、子育てで不便を感じない	18	8.6
子育て関連施設や公園などの遊び場の充実	15	7.1
公園の充実	(12)	
教育環境の充実、学校が近い	12	5.7
病院など医療体制の充実	9	4.3
治安がよい、安全	6	2.9
生活がしやすい、住みやすい	6	2.9
子どもを見かける、若い世帯の増加	5	2.4
地域性・市民性(のんびり、穏やか)、都会と田舎の両面性	5	2.4
ボランティアや地域の子育て支援体制の充実、地域力が高い	4	1.9
その他、意見等	19	9.0
否定的な回答理由	5	2.4
	210	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
病院など医療体制が不十分(医師数を含む)	26	21.7
産科が不十分	(19)	
医療、出産、保育、教育にかかる費用が高い、助成などの支援が不十分	18	15.0
子どもを預ける場が不十分	12	10.0
保育園・幼稚園が不十分	(5)	
放課後児童クラブ(学童クラブ)が不十分	(3)	
他都市との比較によるサービスの不足、遅れている	11	9.2
子育て関連施設の不足、公園や遊び場の不足	8	6.7
施策が不十分	8	6.7
中学校給食がない	(2)	
人口減少、若年層の減少	7	5.8
子どもが少ない、見かけない	7	5.8
教育施設が不十分、教育の質がよくない	5	4.2
雇用が少ない、市内で働いて子育てができない	3	2.5
その他、意見等	15	12.5
	120	100

【以前との比較】

「①良くなっている」「②どちらかというと良くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
子育て支援施策や助成の充実	51	35.4
小児医療費助成	(40)	
子どもを預ける場の充実	18	12.5
幼稚園・保育園の充実、待機児童の減少	(10)	
放課後児童クラブ(学童クラブ)の充実	(7)	
子育て関連施設や公園などの遊び場の充実	17	11.8
公園の充実	(10)	
全体的によくなっていると感じる	12	8.3
教育環境の充実	8	5.6
ボランティアや地域の子育て支援体制の充実	6	4.2
産科の増加など医療体制の充実	6	4.2
市の努力が見える	4	2.8
子どもを見かける、若い世帯の増加	3	2.1
その他、意見等	17	11.8
否定的な回答理由	2	1.4
	144	100

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
人口減少、若年層の減少	12	26.1
病院など医療体制が不十分	11	23.9
産科が不十分	(7)	
子どもを預ける場が少ない、保育園の不足	4	8.7
子育てマナーの低下	3	6.5
施策の成果が見えない、変化を感じない	3	6.5
雇用が少ない、市内で働いて子育てができない	3	6.5
子育て関連施設や遊び場の不足、未整備	2	4.3
その他、意見等	8	17.4
	46	100

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【現在について】

「①思う」「②やや思う」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実	49	40.8
教育環境の充実、学力向上に向けた取り組み	(26)	
国際コミュニケーション能力育成 (ALTほか)	(13)	
中学校完全給食の導入に向けた取り組み	(3)	
子どもたちの様子を見て	12	10.0
元気、のびのびしている	(2)	
あいさつをしてくれる	(3)	
国際色豊か、外国人との交流ができる	10	8.3
地域の見守り・支援体制の充実、学校と地域の連携	7	5.8
地域性・市民性がよい、ゆったりとした環境	7	5.8
公園など遊び場の充実、子育て・社会教育施設の充実	6	5.0
自然環境がよい	4	3.3
子どものためのイベントが多い	3	2.5
その他、意見等	19	15.8
否定的な回答理由	3	2.5
	120	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の具体的な内容・成果が見えない、実感がない	25	30.9
教育環境、教育施策が不十分	16	19.8
施策が不十分、考え方・方向性に疑問がある	8	9.9
大人・親がよくない	6	7.4
子どもたちの様子を見て	5	6.2
人口減少、若年層が増えない	4	4.9
公園などの遊び場が不十分、子育て・社会教育施設が不十分	2	2.5
子育て世帯への支援が不十分	2	2.5
その他、意見等	13	16.0
	81	100

【以前との比較】

「①良くなっている」「②どちらかというと良くなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の充実	28	44.4
中学校完全給食の導入に向けた取り組み	(10)	
教育環境の充実、学力向上に向けた取り組み	(7)	
全体的によくなっていると感じる	6	9.5
公園など遊び場の充実、子育て・社会教育施設の充実	5	7.9
子どもたちの様子を見て	5	7.9
地域の見守り・支援体制の充実、学校と地域の連携	4	6.3
子どもが参加できるイベントの増加	4	6.3
市の努力が見える	2	3.2
その他、意見等	8	12.7
否定的な回答理由	1	1.6
	63	100

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
大人・親がよくない	4	13.3
子どもたちの様子を見て	4	13.3
人口減少、子どもを見かけない	3	10.0
施策の具体的な内容・成果が見えない、実感がない	2	6.7
教育環境、教育施策が不十分	2	6.7
人間関係の希薄化	2	6.7
その他、意見等	13	43.3
	30	100

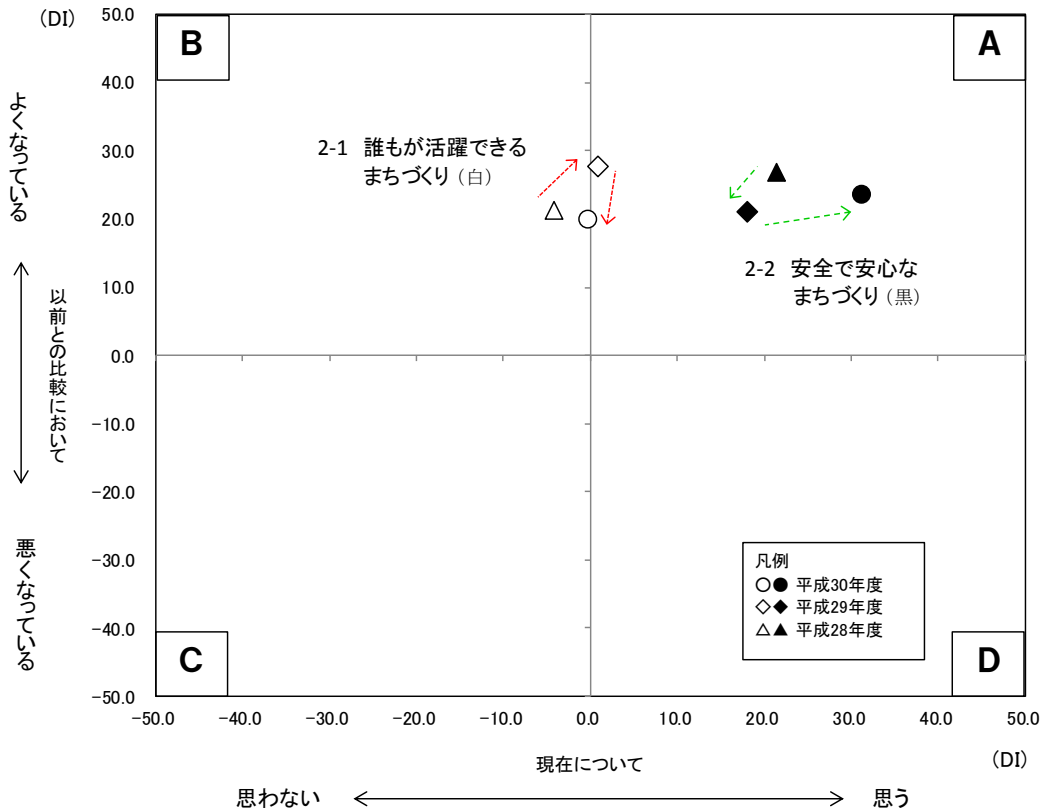
総合戦略 基本目標 4	人口減少社会に対応したまちづくりを進める 【4-1 空き家対策・都市のコンパクト化】 【4-2 健康・医療・福祉対策】
----------------	---

重点プログラム2 『命を守る』
～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

- 問 2-1 横須賀市は、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、いきいきと暮らせる「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。
- 2-2 横須賀市は、「安全で安心なまち」だと思いますか。

1 取り組みの方向性の傾向

図表 iii-3 重点プログラム2の取り組みの方向性の状況（H30-28年度比較）



(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」は前年度調査から大きな変化はみられないものの、値がやや低下し、マイナスとなった。

また、「以前との比較」については約20ポイントの高い値を示しているものの、前年度調査からは低下しており、今後の動向に留意する必要がある。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①思う + ②やや思う (a)	③どちらとも いえない	④あまり思わない + ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	608	32.9	34.0	33.1	▲ 0.2	▲ 1.1
	29年度	465	35.1	30.8	34.2	0.9	5.1
	28年度	478	31.6	32.6	35.8	▲ 4.2	▲ 3.8
以前との 比較	30年度	457	29.1	61.5	9.4	19.7	▲ 8.1
	29年度	360	38.6	50.6	10.8	27.8	6.5
	28年度	385	35.8	49.6	14.5	21.3	▲ 4.9

(回答理由分類については p. 31 参照)

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とも大きくプラスの状況にあり、良好な状況を保っている。

特に「現在について」は、前年度調査と比べて数値が大幅に上昇しており、主な回答理由では「犯罪・事件が少ない、治安がよい」が突出して多く挙げられている。

	調査年度	件数(人)	(ポイント)				
			①よくなっている + ②どちらか というよくなっ ている (a)	③変わっ て いない	④どちらか という 悪くなっ ている + ⑤悪くなっ ている (b)	DI (a)-(b)	前年度比
現在	30年度	752	52.7	25.9	21.4	31.3	13.3
	29年度	536	46.5	25.0	28.5	18.0	▲ 3.5
	28年度	544	47.4	26.7	25.9	21.5	4.0
以前との 比較	30年度	614	33.1	57.3	9.6	23.5	2.4
	29年度	456	35.1	50.9	14.0	21.1	▲ 5.7
	28年度	473	39.7	47.4	12.9	26.8	5.8

(回答理由分類については p. 33 参照)

2 回答理由分類

(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者・障害者・健康増進施策の充実、支援体制の整備	29	23.4
健康増進施策（ラジオ体操、市民スポーツなど）	(6)	
高齢者・介護施策	(6)	
障害者施策、特別支援教育	(11)	
就労場所の増加	18	14.5
障害者の就労場所・就労者の増加、就労の様子を見て	(12)	
元気な人が多い	11	8.9
介護老人福祉施設、障害者支援施設など施設の充実	9	7.3
活躍している、活躍する人・場の増加	7	5.6
市民活動・ボランティア活動で活躍する人の増加	(2)	
高齢者や障害者への配慮ができて、思いやりがある	7	5.6
高齢者・障害者の外出が多い	5	4.0
検診事業、病院など医療体制の充実	5	4.0
バリアフリー対策等	4	3.2
本人の意思があれば活躍できる	3	2.4
暮らしやすい、不自由・不便さを感じない	3	2.4
その他、意見等	21	16.9
否定的な回答理由	2	1.6
	124	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
施策の具体的な内容・成果が見えない、実感がない	20	15.6
バリアフリー対策が不十分、坂・階段が多い、交通が不便	18	14.1
高齢者・障害者施策、支援体制や助成が不十分	14	10.9
雇用・企業の減少	12	9.4
活躍の場が少ない、活躍しているのは一部の人のみ	11	8.6
弱者に冷たい、理解がない、孤立化	7	5.5
他都市と比較して劣っている、他都市と同じ	6	4.7
まちが衰退している、活気がない	5	3.9
高齢化、若年層が少ない	5	3.9
雇用の偏り	4	3.1
PR、情報発信不足	3	2.3
差別・偏見がある	3	2.3
その他、意見等	20	15.6
	128	100

【以前との比較】

「①良くなっている」「②どちらかというと良くなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢者・障害者・健康増進施策の充実、支援体制の整備	17	22.7
障害者施策	(6)	
健康増進施策（ラジオ体操、市民スポーツなど）	(7)	
活躍している、活躍する人・場の増加	13	17.3
市民活動・ボランティア活動で活躍する人の増加	(2)	
全体的によくなっている	8	10.7
福祉への理解・意識の向上、やさしくなった	7	9.3
バリアフリー対策等	6	8.0
市の努力が見える	4	5.3
介護老人福祉施設、障害者支援施設など施設の充実	4	5.3
イベント・講座の増加	3	4.0
防災対策など安全・安心面の充実	3	4.0
その他、意見等	8	10.7
否定的な回答理由	2	2.7
	75	100

「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
高齢化、子ども・若年層が少ない	5	16.1
施策の具体的な内容・成果が見えない、実感がない	5	16.1
まちが衰退している、活気がない	5	16.1
その他、意見等	16	51.6
	31	100

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
犯罪・事件が少ない、治安がよい	103	41.7
不安や危険を感じない、安心して生活できている	45	18.2
地域、自治会、ボランティアによる安全対策の充実	17	6.9
防犯パトロール	(4)	
街路防犯灯	(2)	
気候が温暖で災害が少ない	16	6.5
地域の人間関係のつながり、意識の向上、市民共助	15	6.1
防災・災害対策の充実	11	4.5
警察の存在、警察による巡回、米軍・自衛隊の存在	6	2.4
防犯設備、防犯体制の充実	4	1.6
他都市と比較してよい	4	1.6
交通安全対策の充実、事故の減少、通学路・道路整備	3	1.2
その他、意見等	17	6.9
否定的な回答理由	6	2.4
	247	100

「④あまり思わない」「⑤思わない」 ※ () は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
犯罪・事件が多い、治安が悪い、不審者がいる	35	28.2
不審者がいる	(7)	
暴走族、若年層のバイク暴走、夜遊び	(2)	
街路防犯灯が少ない、夜道が暗い	(3)	
米軍、原子力空母、核燃料関連施設、外国からの攻撃の恐れ	16	12.9
山・崖の多さや地震・津波などの災害への不安	16	12.9
通学路・歩道・道路の整備が不十分	12	9.7
外国人、米軍人の存在、それらによる事件	11	8.9
事故が多い、交通マナーが悪い、路上駐車が多い	7	5.6
防災・災害対策が不十分	6	4.8
防犯設備、防犯体制が不十分	5	4.0
警察の巡回・対応が不十分、交番の場所が分からない	3	2.4
地域関係の希薄化	3	2.4
その他、意見等	10	8.1
	124	100

【以前との比較】

「①良くなっている」「②どちらかというとなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
犯罪・事件の減少、治安がよい	26	22.8
防災・災害対策の充実	20	17.5
崖地・急傾斜地崩壊対策	(8)	
改善されている、以前からよい	20	17.5
防犯設備、防犯体制の充実	11	9.6
街路防犯灯の設置	(6)	
交通安全対策の充実、通学路・道路整備	9	7.9
地域の人間関係のつながり、意識の向上、市民共助	8	7.0
地域、自治会、ボランティアによる安全対策の充実	8	7.0
施策の充実	3	2.6
その他、意見等	7	6.1
否定的な回答理由	2	1.8
	114	100

「④どちらかというとなっている」「⑤悪くなっている」 ※（ ）は内数

回答理由分類	延件数(人)	構成比(%)
犯罪・事件の増加、治安が悪い、不審者がいる	17	37.0
米軍基地がある、外国からの攻撃の恐れ	6	13.0
津波などの災害への不安	3	6.5
空き家の増加	3	6.5
通学路・道路・歩道の整備が不十分	2	4.3
防災・災害対策が不十分	2	4.3
全体的に悪くなっている	2	4.3
その他、意見等	11	23.9
	46	100

(参考1)

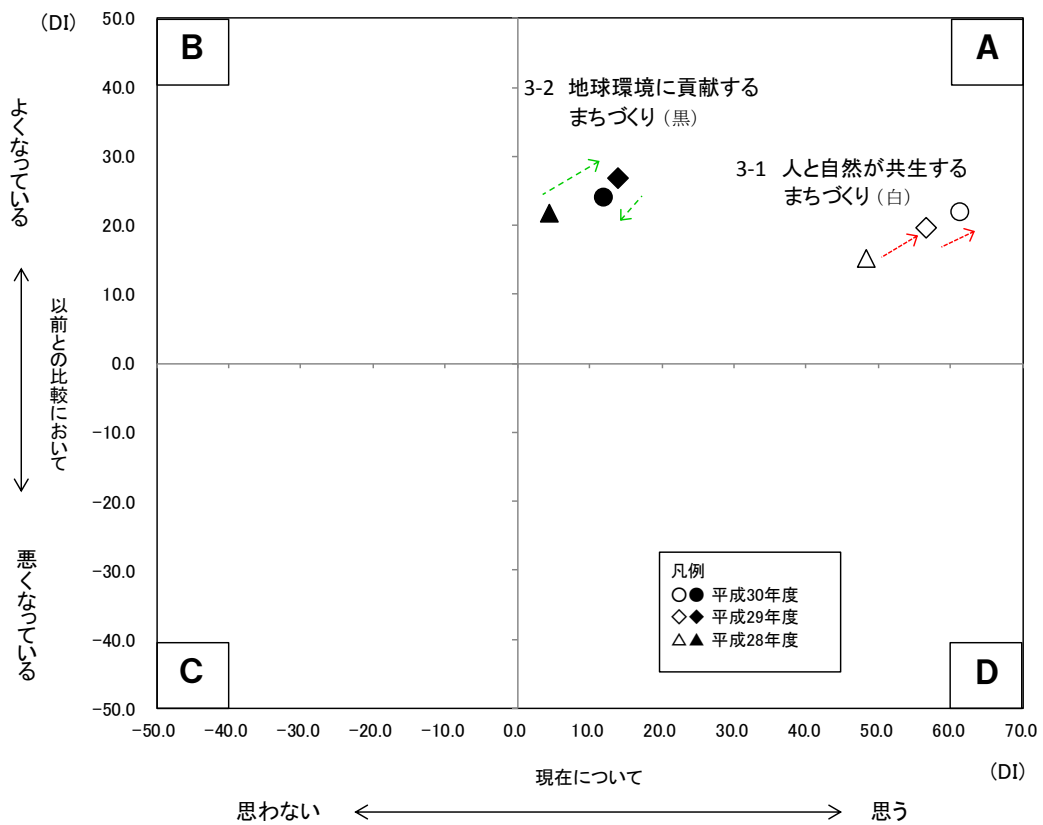
重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

- 問 3-1 横須賀市は、「人と自然が共生するまち」だと思いますか。
3-2 横須賀市は、「地球環境に貢献するまちづくり」が進められているまちだと思いますか。

1 取り組みの方向性の傾向

図表 iii-4 重点プログラム3の取り組みの方向性の状況 (H30-28年度比較)



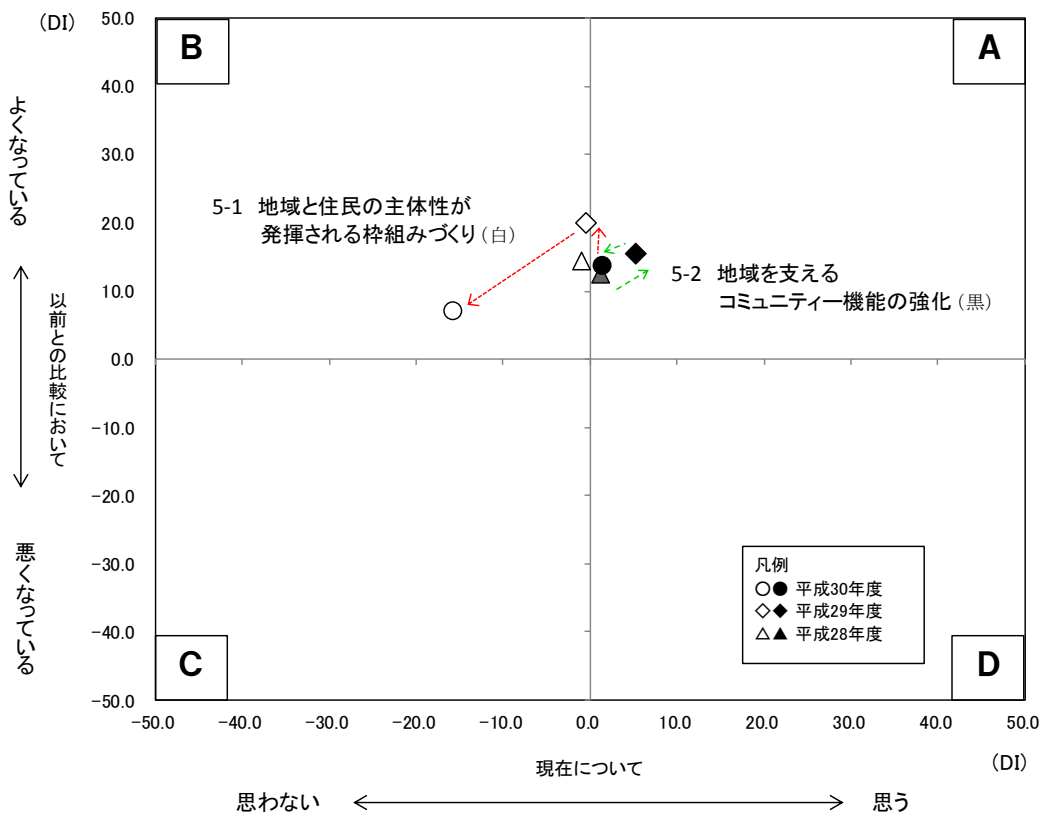
(参考2)

重点プログラム5 『地域力を育む』
～地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり・
地域を支えるコミュニティー機能の強化～

問 5-1 横須賀市は、「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」が進められているまちだと思いますか。
5-2 横須賀市は、「地域を支えるコミュニティー機能の強化」が図られているまちだと思いますか。

1 取り組みの方向性の傾向

図表 iii-5 重点プログラム5の取り組みの方向性の状況 (H30-28年度比較)



横須賀市の都市力（都市の魅力）

— 優先して取り組むべき政策について —

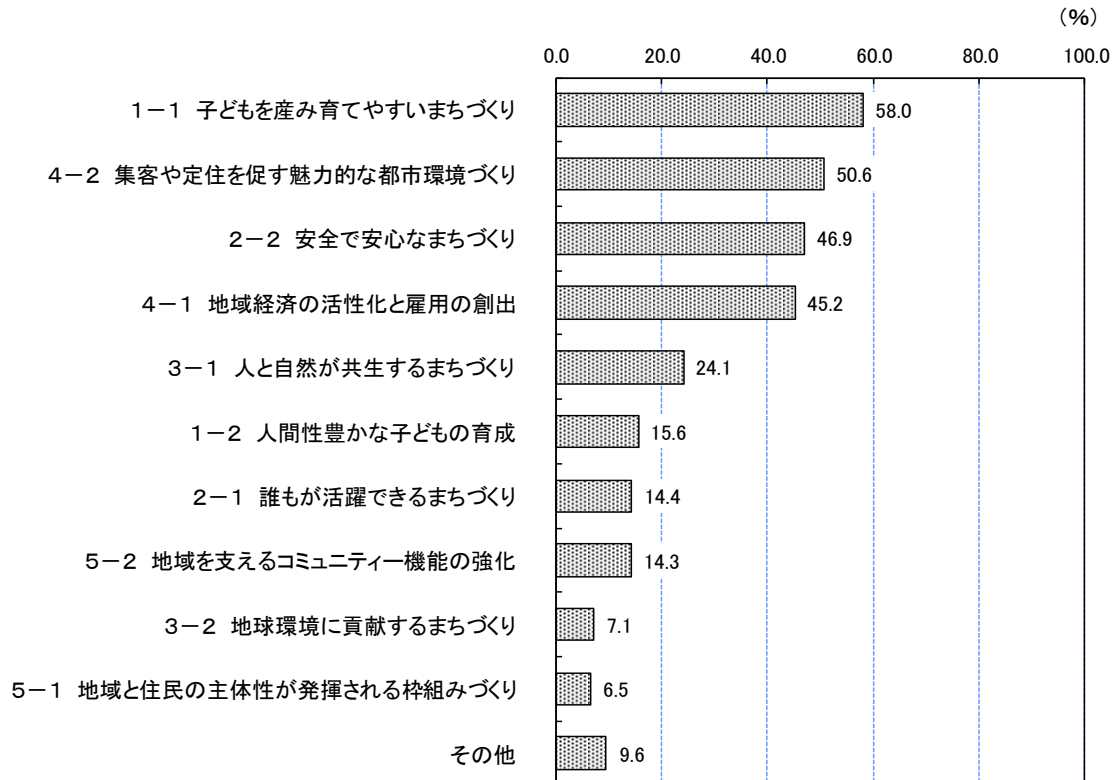
問 人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきだと思いますか。

1 優先して取り組むべき政策の傾向

(1) 平成30年度調査結果

- ・「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」の回答割合が最も高く（58.0%）、次いで「4-2 集客や定住促進を促す魅力的な都市環境づくり」（50.6%）、「2-2 安全で安心なまちづくり」（46.9%）、「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」（46.2%）が選択されている。
- ・選択順位別でも、1番目の項目として「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も多く選択されている（40.8%）。また、2番目の項目としては「2-2 安全で安心なまちづくり」を選択する回答者が最も多く（20.9%）、3番目の項目としては「4-2 集客や定住促進を促す魅力的な都市環境づくり」を選択する回答者が最も多い（23.3%）。

図表 iii-6 「優先して取り組むべき政策」の状況（n=784）



※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 iii - 7 「優先して取り組むべき政策」の状況（選択順位別）

プログラムおよび取り組みの方向性(順位別)		全体		1番目		2番目		3番目	
		件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)	件数(人)	回答割合(%)
プログラム 1	(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	455	58.0	320	40.8	82	10.7	53	7.1
	(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	122	15.6	39	5.0	53	6.9	30	4.0
プログラム 2	(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	113	14.4	32	4.1	47	6.1	34	4.6
	(2-2) 安全で安心なまちづくり	368	46.9	124	15.8	160	20.9	84	11.3
プログラム 3	(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	189	24.1	23	2.9	94	12.3	72	9.7
	(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	56	7.1	5	0.6	25	3.3	26	3.5
プログラム 4	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	354	45.2	111	14.2	134	17.5	109	14.7
	(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	397	50.6	94	12.0	130	17.0	173	23.3
プログラム 5	(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	51	6.5	1	0.1	14	1.8	36	4.8
	(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	112	14.3	11	1.4	17	2.2	84	11.3
その他		75	9.6	24	3.1	9	1.2	42	5.7
回答数(n)				784	100	765	100	743	100

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

(2) 平成30年度-28年度調査結果

- ・平成28年度調査以降、全体的な回答割合の傾向に大きな差は見られないが、前回調査で2位に上昇した「4-2 集客や定住促進を促す魅力的な都市環境づくり」が、今回調査でも引き続き2位となった。

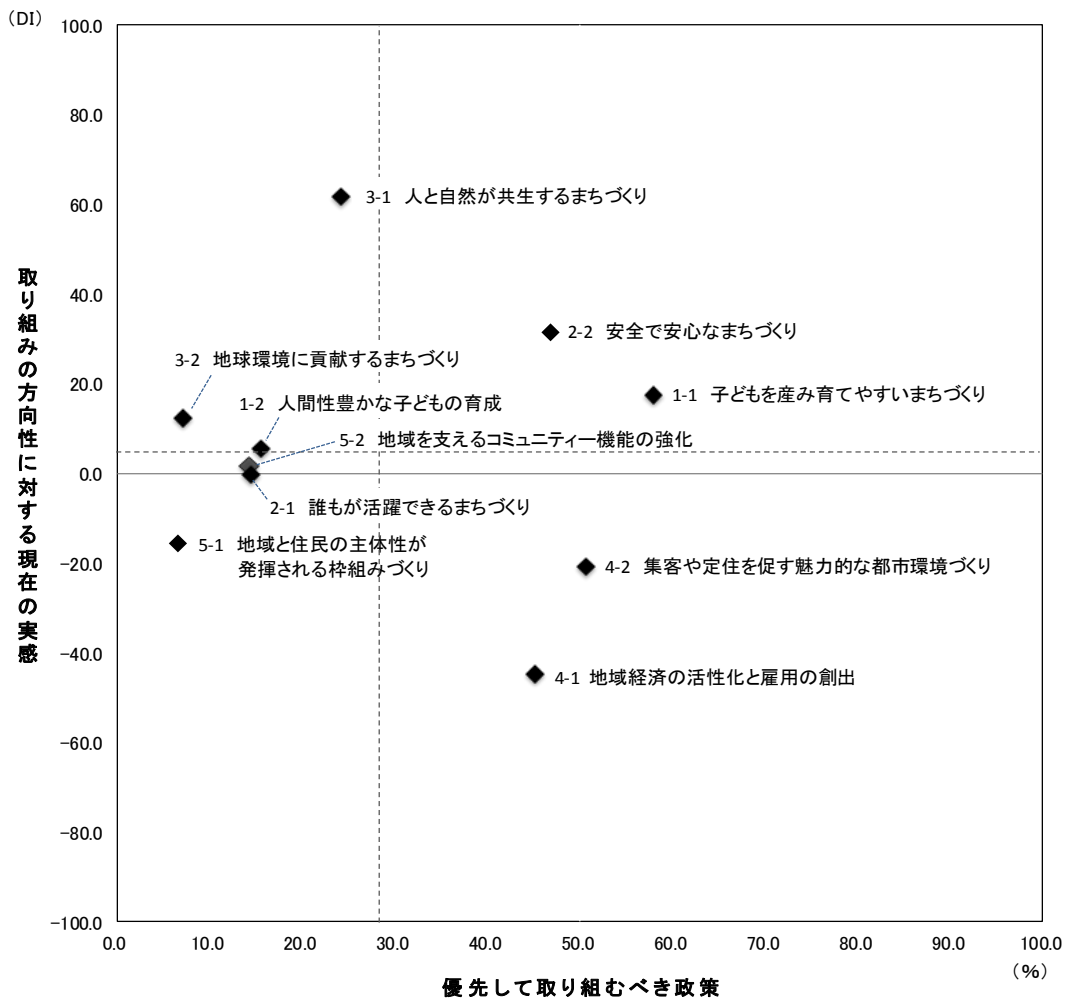
図表 iii - 8 「優先して取り組むべき政策」の回答割合（H30-28年度比較）

取り組みの方向性	30年度(n=784)		29年度(n=561)		28年度(n=574)		30-29年度比	29-28年度比
	順位	回答割合(%)	順位	回答割合(%)	順位	回答割合(%)		
(1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり	1	58.0	1	60.4	1	57.8	▲ 2.4	2.6
(4-2) 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	2	50.6	2	52.8	4	44.9	▲ 2.1	7.9
(2-2) 安全で安心なまちづくり	3	46.9	3	52.2	2	55.2	▲ 5.3	▲ 3.0
(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	4	45.2	4	46.2	3	52.6	▲ 1.0	▲ 6.4
(3-1) 人と自然が共生するまちづくり	5	24.1	5	21.6	5	24.0	2.5	▲ 2.4
(1-2) 人間性豊かな子どもの育成	6	15.6	6	15.5	6	17.9	0.1	▲ 2.4
(2-1) 誰もが活躍できるまちづくり	7	14.4	8	11.9	7	14.6	2.5	▲ 2.7
(5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の強化	8	14.3	7	14.6	8	12.2	▲ 0.3	2.4
(3-2) 地球環境に貢献するまちづくり	9	7.1	9	5.9	10	4.2	1.3	1.7
(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	10	6.5	10	5.2	9	6.1	1.3	▲ 0.9
その他	—	9.6	—	7.1	—	7.5	2.5	▲ 0.4

2 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感

- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より高く、「現在の実感」のDIが平均値より低い項目は、プログラム4（4-1、4-2）のみ。
- ・プログラム1の「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は「優先して取り組むべき政策」の回答割合が全政策の中で最も高いが、「現在の実感」のDIでは3番目に高い。一方「1-2 人間性豊かな子どもの育成」は「現在の実感」のDIは平均値に近いものの、優先度は平均値を下回っている。
- ・プログラム2のうち「2-2 安全で安心なまちづくり」は「現在の実感」のDIが平均値より高く、優先度も3番目に高い。一方、「2-1 誰もが活躍するまちづくり」はいずれも平均値を下回っている。
- ・プログラム3とプログラム5の取り組みの方向性は、いずれも「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より低くなっている。

図表 iii-9 優先して取り組むべき政策×現在の実感（H30年度）



※グラフ内の破線は、「優先して取り組むべき政策の回答割合 (%)」と「取り組みの方向性に対する現在の実感 (DI)」それぞれの平均値を示したもの (X=28.3 Y=4.8)

平均値の推移：29年度 (X=28.6 Y=6.2) 28年度 (X=28.9 Y=5.5)

基本的な属性（F 1～F 6）

（1）性別（F 1）

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	816	100	100	100		
男性	311	38.1	40.6	37.0	▲ 2.5	3.6
女性	485	59.4	58.0	59.9	1.4	▲ 1.9
無回答	20	2.5	1.4	3.1	1.1	▲ 1.7

（2）年齢（F 2）

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	816	100	100	100		
15～19歳	31	3.8	3.7	4.6	0.1	▲ 0.9
20～29歳	68	8.3	7.7	7.8	0.6	▲ 0.1
30～39歳	108	13.2	13.3	11.9	▲ 0.1	1.4
40～49歳	116	14.2	15.8	13.1	▲ 1.6	2.7
50～59歳	146	17.9	16.8	15.7	1.1	1.1
60～69歳	164	20.1	22.2	22.7	▲ 2.1	▲ 0.5
70歳以上	163	20.0	19.1	21.5	0.9	▲ 2.4
無回答	20	2.5	1.4	2.7	1.1	▲ 1.3

（3）居住地域（F 3）

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	816	100	100	100		
本庁地域	117	14.3	14.0	14.7	0.3	▲ 0.7
追浜地域	62	7.6	6.8	7.3	0.8	▲ 0.5
田浦地域	47	5.8	5.1	4.6	0.7	0.5
逸見地域	21	2.6	2.6	2.4	0.0	0.2
衣笠地域	116	14.2	13.0	14.3	1.2	▲ 1.3
大津地域	82	10.0	13.1	9.4	▲ 3.1	3.7
浦賀地域	100	12.3	12.8	13.3	▲ 0.5	▲ 0.5
久里浜地域	110	13.5	14.4	15.7	▲ 0.9	▲ 1.3
北下浦地域	70	8.6	7.5	6.1	1.1	1.4
西地域	70	8.6	8.9	9.0	▲ 0.3	▲ 0.1
無回答	21	2.6	1.8	3.2	0.8	▲ 1.4

(4) 職業 (F4)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	816	100	100	100		
農林漁業	2	0.2	0.4	0.0	▲ 0.2	0.4
自営(商店・工務店・工場等)	16	2.0	0.9	1.7	1.1	▲ 0.8
自営(サービス業)	21	2.6	2.6	2.4	0.0	0.2
会社員・公務員 (事務職・専門職・管理職)	122	15.0	15.8	17.7	▲ 0.8	▲ 1.9
会社員・公務員(販売/サービス)	74	9.0	9.2	4.7	▲ 0.2	4.5
会社員・公務員 (保安・運輸/通信・建設/労務)	39	4.8	4.9	3.6	▲ 0.1	1.3
自由業	14	1.7	0.2	0.2	1.5	0.0
家事専業	139	17.0	15.9	18.9	1.1	▲ 3.0
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	134	16.4	17.0	14.5	▲ 0.6	2.5
学生	45	5.5	4.2	5.3	1.3	▲ 1.1
無職	164	20.1	23.8	23.9	▲ 3.7	▲ 0.1
その他	24	2.8	3.6	4.7	▲ 0.8	▲ 1.1
無回答	22	2.7	1.4	2.4	1.3	▲ 1.0

(5) 世帯の状況 (F5)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	840	100	100	100		
単身世帯(一人暮らし)	98	11.7	11.7	16.1	0.0	▲ 4.4
夫婦のみ	245	29.2	29.1	31.3	0.1	▲ 2.2
小学生未満の子どもがいる	59	7.0	7.0	5.4	0.0	1.6
小学生～中学生の子どもがいる	72	8.6	8.6	9.2	0.0	▲ 0.6
65歳以上の高齢者がいる	167	19.9	19.9	16.1	0.0	3.8
該当なし	175	20.8	20.8	18.9	0.0	1.9
無回答	24	3.0	3.1	3.0	▲ 0.1	0.1

※複数回答

(6) 居住年数 (F6)

項目	件数(人)	構成比(%)			増減	
		30年度	29年度	28年度	30-29年度比	29-28年度比
全体	816	100	100	100		
1年未満	8	1.0	1.1	1.0	▲ 0.1	0.1
1～3年	39	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	0.8
4～9年	56	6.9	4.7	6.5	2.2	▲ 1.8
10～14年	40	4.9	6.3	5.8	▲ 1.4	0.5
15～19年	65	8.0	8.1	7.8	▲ 0.1	0.3
20～24年	60	7.4	8.1	7.8	▲ 0.7	0.3
25年以上	527	64.5	64.2	63.4	0.3	0.8
無回答	21	2.5	1.7	2.7	0.8	▲ 1.0